

Feng-Shui Gallery

special edition vol.88

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～
『**周辺環境や空間における植物の働き**』
～植栽や観葉植物を用いて、氣の流れを整える～



<3>



<2>

<写真2>住宅の外観において、四季折々に表情を変える植栽を配置することはとても大切です。特にアプローチ付近には、色彩や形状の異なる植栽を数種類用いることで、周辺のエネルギーを高め、日々の生活に変化をもたらしてくれます。<写真3>風水住宅では、外観のライトアップにも注力してデザインを施しており、光の陰影や、光に透過された植栽の緑色の濃淡が、良い氣を集め住宅のエネルギーを高めてくれます。手入れされた植栽があることで、防犯面においても効果が期待されます。<写真4>背が高く大きな観葉植物が多数レイアウトされたオフィス空間。室内に植物を配置することで、氣の流れを良くする働きとともに、葉の緑色が集中力を高める働きももたらしてくれます。<写真5>オフィスのエントランスホールには、葉の形状が鋭角で、上向きに成長するような植物を配置すると良いでしょう。家の外観に用いた場合と同様に、見る人に「発展」や「向上」といったポジティブなイメージを与えてくれます。<写真6>オフィス空間の間仕切りに観葉植物を用いることも有効です。音は遮ることはできませんが、部署ごとに仕切りたい場合など、視線を遮ることによって区分けができ、集中力を高めてくれる働きが期待できます。



<4>



<1>

<写真1>住宅の門扉（門柱）周辺のアクセントツリーは、縦に長く成長するような植物を配置することで、「発展」や「向上」を意識づけできる為おすすめです。このような植物があることで、家の周辺環境にも良い影響を与えることができ、土地のエネルギーを高め、氣の流れを良くすることが可能です。



<6>



<5>

風水デザインにおいて、植物は重要な働きをもっています。その色彩や形状によって、家の外観イメージに大きく影響を与え室内空間においては、癒しやくつろぎの働きをもたらします。氣の流れを整えたり、悪い氣を吸収したりする効果もあり、なくてはならない要素と言えるでしょう。